



## 地域の話題を 番組収録

### 美麻地区文化祭で、恒例の インターネットライブ中継

今年も美麻地区文化祭の会場で、大町美麻テレビの公開収録とインターネットライブ中継を行いました。住民自ら地域の情報を発信する住民ディレクター活動を始めてから6年目、一昨年からは中学生が中心に収録を行っています。

私は美麻地区文化祭でMCをやりました。一人でやるのは心配だったけれど未来さんがいたので心強かったです。本番ではしっかりとマイクを持ってみなさんにちゃんと聞こえる声で話せることができて良かった

です。来年度の美麻地区文化祭では何をやるかは分かりませんが、今回の様にしっかりと自分のやるべきことはやり、文化祭を良いものにしたいと思います。

(8年 関口珠緒)





麻文化継承活動として、大町市社にある松崎和紙腰原修一さんを講師に迎え、11月22日に麻入り和紙の紙すき体験を行いました。

この日は、美麻小中学校6年生、9年生の児童生徒が、20年ほど前まで使われていた麻和紙の卒業証書を各自で作成しました。

## 手すき麻和紙で卒業証書づくり

【伝統文化の継承活動・11月22日】

紙すきは、4年生の時に見学には行っているけれど、実際にやるのは初めてなので楽しみでした。

葉書用の紙すきは、簡単で飾りつけもちゃんとできたので良かったです。でも、卒業証書の紙は大きいせいか重くて少しできなくなって、1回は失敗してしまいました。けれど、2回目は腰原さんが「落ち着いて、落ち着いて。」とってくれたので失敗せずに出来ました。

卒業式が楽しみです。

(6年 小林奎)



11月22日に、紙すき体験をして自分たちで卒業証書を作りました。僕は紙すきは初めてでしたが、松崎和紙さんが詳しく説明してくださったので、みんなキレイに作ることができていました。自分たちで卒業証書を作ることさらに思い出を深く感じる事ができて少し悲しいですが、この学校での残りの生活を楽しまたいと思います。

(9年 稲垣啓佑)

# みあさ保育園発表会 (12月7日)

みあさ保育園発表会が行なわれました。園児が年々少なくなる中でしたが、とっても元気に発表する子供たちと、たくさんのご来場の皆様、この日まで準備とご指導して頂いた先生方のおかげで、にぎやかで楽しい発表会となりました。

園児全員の歌で始まり、年長のきりん組さんの歌や合奏、りす組さんの劇「大きなかぶ」と、歌や合奏、きりん組さんの劇「アリババと40人の盗賊」と演目は続き、かわいい発表に会場は拍手でいっぱいでした。りす組さんは、残念ながら1名欠席の中でしたが、見事にフォローしてこなしました。きりん組さんは、よくよく歌詞も台詞も踊りも覚えて、笑いも取りながら、堂々と発表していました。

保護者による発表もあり、年長さんのお母さん方による手作りのエプロンシアター「ブレーメンの音楽隊」。そして前持って台本を配っておいた「十二支物語」を、ぶっ



つけ本番でこなすという多少無理やりな企画でしたが、みんなでわいわい、後半は園児も乱入して、アットホームで楽しい発表となりました。

終了後には保護者会主催のバザーも行われ、手作りの手芸品や、お菜漬けや白菜、ケーキも登場！出品や、お買い物のカンパにご協力下さり、ありがとうございました。発表会まで頑張って練習した子供たちは、自信をつけて、ぐーんと大きくなりました。先生方へ感謝いたします。ありがとうございました。(保育園保護者会 鈴木 幸)

## ゆるキャラ投票～その後～



### ゆるキャラについての話し合いをして

4月から取り組んできたゆるキャラ制作のことについて地域づくり会議の人たちと話し合いをしました。いろいろあったけど模型までたどり着き、完成することができました。(9年 手塚健太)

話し合いでは自分の意見を述べること

ができたので地域づくり会議の人たちに僕たちの気持ちが伝わったと思います。ぜひ僕たちの夢をかなえていただき、「美麻」を多くの人に知ってもらえたら嬉しいです。(9年 手塚健太)

「美麻にゆるキャラを作ろう」という話が出たのは昨年度でした。最初は夢のような話でしたが、地域づくり会議のみなさんや地域の方々に協力していただきここまで進めることができました。地域づくり会議のみなさんとお話して、作るだけではいけないと感じました。

できたゆるキャラが地域に愛されるよう今度はぼくたちが協力したいと思います。(9年 宮田翔平)

## みんなでつくるコミュニティスクール ③

平成26年度より小中一貫のコミュニティ・スクールとして美麻小中学校は、ステップアップしますが、よりよい学校づくりのために学校支援ボランティアを募集します。皆さんの特技やお仕事、経験を活かして子どもたちとともに学びませんか？

### 支援ボランティア募集

○特に今回ボランティアを募集している  
活動内容・・・

- ・図書館の本の整理、貸し出しの手伝い
- ・総合学習（美麻市民科）で地域のお話（歴史、文化、自然など）をしていただける方

○ボランティア募集要項

18歳以上で支援部の方針と活動に理解し協力いただけ、個人情報など秘密を守れる方

- ・報酬はありませんが、支援ボランティアとして登録し市が傷害保険負担します。

お問い合わせ先 美麻小中学校

電話 29-2004 / FAX 29-2667

メール [miasaej@miasa.city-omachi.ed.jp](mailto:miasaej@miasa.city-omachi.ed.jp)

担当：教頭 工藤 または、

スクールコーディネーター 前川

### 勉強会のお知らせ

コミュニティスクール開校に伴い、地域の皆さんと共にコミュニティスクールとはどういうものか？何をを目指すのか？住民は何ができるのか？などを考えるシンポジウムを開催します。

信州大学教育学部教授の伏木久始さんをコーディネーターに、全国第一号のコミュニティスクール千葉県習志野市秋津小学校の元スクールコーディネーター、現在文部科学省のCSマイスターの岸裕司さんをお招きして開催しますので、みなさん是非ご参加ください。

テーマ「美麻地区の特色を生かしたコミュニティスクールのあり方」

日 時 1月31日（金）

受付 17:30～17:40

基調講演・シンポジウム 17:45～19:20

会場 ぽかぽかランド美麻

参加費 無料 当日現地にて受付

主催 美麻コミュニティスクール  
推進委員会

共催 美麻地域づくり会議・大町市  
教育委員会 美麻小中学校

学社融合事業として取り組んでいる美

お問い合わせ先 美麻小中学校

電話 29-2004 / FAX 29-2667

メール [miasaej@miasa.city-omachi.ed.jp](mailto:miasaej@miasa.city-omachi.ed.jp)

担当：教頭 工藤

### 地域学習のテーマ募集

麻市民科（総合学習）の授業が、平成26年は、1月より地域学習をスタートします。そこで、学習で取り上げてほしいテーマを地域の皆さんから募集します。

自然、歴史、文化、暮らしなど、地域に関係するどんな内容でも構いません。お寄せいただいた内容を最初の授業で投げかけて、生徒がテーマを決めます。

募集期限 平成26年1月20日（月）

お問い合わせ・申し込み先

美麻支所地域づくり会議事務局

電話：29-2311 / FAX 29-2333

メール [info@miasa.info](mailto:info@miasa.info)

担当：細井、渋谷見

# 美麻地区文化祭に参加して



私達7年生は美麻地区文化祭でミスタードーナツの袋づめや販売を行いました。私は主に販売を任せ、接客と会計を行いました。ドーナツはかなり人気で3袋くらい買うお客さんも少なくなく計算が大変でした。すぐに完売してしまい驚きました。

一部の人は特別収録なども行いました。私は特別収録のタイムキーパーをしました。ディレクターさんに時間を教えるのは大変だったけど楽しかったです。来年もが

んばって取り組みたいです。

(7年 大塚幸夢希)

今年で“中学生”としての参加は最後になりました。私達9年生は「ゆるキャラ班」「ジビエ班」として公開収録にも出させてもらい、美麻の良さを地域の外へ発信できたと思います。私達ジビエ班は「鹿焼きそば」もPTAの方々に作ってもらい販売しました。たくさんの方々に「おいしい」と言っていただきとても嬉しかったです。協力していただいたみなさん、本当にありがとうございました。(9年 中村綾佳)



## 収穫祭を終えて (山村留学センター)

僕は今年収穫祭2年目でした。今年は20人で昨年より2人少なかった。

今年の全体発表は劇をメインに太鼓などをやった。今年は時間がぎりぎり練習が結構ハードだった。劇はとにかくセリフを読む練習と身振り手振りをする練習が大変だった。太鼓は練習の時間がない中で、自分で時間を作って一生懸命に練習をした。

今年は時間がない中みんなで作って練習したので、この収穫祭でみんなすごく成長したと思う。(7年 佐井大海)

11月16日、17日に収穫祭がありました。1日目は個人体験発表と全体発表が主に行われました。どの発表もあきないように工夫されていて面白かったです。

2日目は地域の人のために模擬店やバザーを開きました。来てくれた人が楽しそうにしているのが嬉しかったです。

最後に収穫祭に来て下さった方、僕たちの発表を見に来てくださりありがとうございました。(8年 細谷晃大)

今年は劇と太鼓両方発表しました。練習時間が少ない中、自分たちで協力し合い練習に励みました。やらなければいけないことは他にも沢山あり、学園生全員を仕切るのは大変でした。でも本番では全員の心が一つになり自分としては最高の発表ができたと思います。

お越しいただいた小中学生、先生方、地域の方々に本当に感謝しています。ありがとうございました。(9年 上妻遼介)



# 源流美麻太鼓 25周年バチ納め演奏会



応援ありがとうございます。村政100周年を契機に創設された源流美麻太鼓は、皆さんに支えていただき、25周年を迎えることができました。これを記念し、12月8日にサンアルプス大町でバチ納め演

奏会とぽかぽかランド美麻で25周年記念祝賀会を開催しました。演奏会には、会場がいっぱいとなる250人近いお客さんに来ていただきました。

祝賀会は、来賓の方、打ち手OB、現役の打ち手やその家族が70名ほど参加し賑やかな催しとなりました。牛越市長と吉澤元村長より、お祝いの言葉をいただきました。太鼓創設当時の懐かしいビデオの上映を行い、涙を浮かべる参加者もいらっしゃいました。また、現在の打ち手のリーダーである川田涼葉より、今後の活動に対しての誓いの言葉もあり、昔を懐かしむだけでなく、新しい活動に向けての第一歩を踏み出す祝賀会にもなりました。

## 民生児童委員が改選

私たちが日々生活している環境を理解し、最も身近な相談相手となるのが民生委員です。この12月1日、全国一斉に改選されました。

生活上の困りごと、行政が把握することが難しい個々の心配ごとを、地域に暮らす住民の一人として、皆さんと接する中で問題を共有しながら、関係機関への橋渡し役を担っています。

心配ごとは突然訪れます。電話で相談されても直接お宅に伺っていただいても構いません。玄関先に掲げられた「民生委員・児童委員」の青い表札が目印です。民生委員には秘密を守る義務があります。たとえ家族であっても、民生委員を辞職した後であっても、相談内容が守られることをお約束します。

「民生委員は目立ってはいけない」、そう言い聞かせながら、地域に欠かせな

いボランティアの一員として、皆さんの身近な場所で民生委員は日夜活動しています。

氏名	担当地区	電話	備考
高木千枝	中村、中村団地 北村、西平	29-2244	新任
山本正伸	南村、日影川下 中の貝、峰、高地	29-2203	再任
飯沢 要	二 重	29-2336	再任 会長
酒井孝芳	新 行	23-1452	再任
熊谷勝利	袖、川手、峠、石原、 塩の川、日向、米山、 旭団地、一宇田、池の	29-2393	再任 会長代理
伊藤敏子	藤、矢地由久保、花尾 万中、奈良尾、片岡、 矢久	29-2120	再任
小林博一	千 見	29-2980	新任
竹内千代子	美麻全域	29-2310	再任 主任児童委員

## 第3回美麻小中学校市民科講演会

# アメリカの旅・日本の旅（11月11日）

クラフト作家大塚浩司さんをお招きして「アメリカの旅・日本の旅」と題して、5年生から9年生までの児童生徒と一般の参加者数名が講演を聴きました。中学校時代はどんな考え方をしていたのか、アメリカに行こうと思ったきっかけ、アメリカの様子、大人になるとはどういうことかなどをお話していただきました。児童生徒が書いた感想文を送ったところ、後日、大塚さんから児童生徒一人ひとりに返事が届きました。

### お話を聞いて思ったこと

大塚さんの話を聞いて自分で行動することの大切さがわかりました。私はメンドシーノへは行ったことがないけど、お父さんの仕事の関係でタイに行ったことが3回あります。

確かに自分で決めて動いていないので、どの駅だったか、どのデパートだったか、地名すらも全く覚えていません。

私はどこに行ってみたい、やりたいことがあります。だからいろんなことを自主的に体験してやっていきたいです。けれど外国の道を自転車（マウンテンバイク）で走ってみたいなと思ってます。好きなことをしてもあきらめずに克己心をもってがんばっていきたいです。ありがとうございました。

（6年 奥村絵里花）

今日はお話をしてくれてありがとうございました。夢を持って生きていることはとても大切なことだと教えていただき、とても心に残りました。私も将来の夢はまだみつかりませんが大塚さんのように自由に生きてこれからみつめていきたいです。好きなことをこれからもして生活していきたいです。

（7年 齊藤亜美）



大塚さんは中学時代学校に行っていない時期があった。一般的にはそれはよくないことだが、大塚さんはその経験が良かったと言っていた。それを聞いて学校の授業が全てではないとあらためて思った。それと大塚さんはアメリカに行ったが会話は中学校3年間で習う英語で十分だと言っていた。それを聞いて中学校での勉強は必要なんだと思った。大塚さんの話を聞いて自分の生きたいように生きるべきだとあらためて思った。自主的に動きたい。（8年 大塚彩加）

## ふるさとをテーマに C M づくりに

毎年行われている「ふるさとCM大賞NAGANO」に美麻小中学校6年生の児童が企画・撮影・編集を子供たちの手で創り上げた、作品「美麻の宝 輝け！小中一貫」で応募しました。

なお、作品はインターネットで見ることができますのでご覧ください。

URL [http://www.abn-tv.co.jp/program/cm\\_nagano/work/cm/?cd=20212](http://www.abn-tv.co.jp/program/cm_nagano/work/cm/?cd=20212) 又は「cm大賞 美麻」で検索してみてください。



## ふるさと美麻会 総会を開催

美麻の皆さん、新年明けましておめでとうございます。

私たちは「ふるさと美麻会」と称し、関東を中心に長野県内外に在住する大町市美麻地区（旧美麻村）出身者及び美麻に関係深い有志で構成している親睦団体です。

平成3年に高知出身で東京都区長などを歴任された松下政行さんを始め諸先輩のご尽力で発足し、今年で23年目になります。会員数は、少子高齢化などに伴い現在は約60名ほどですが、当初は約200名近くで構成し、長野県人会にも属していました。

郷土意識の高揚を図りつつ、生まれ育ったふるさと美麻との絆を一層深め、合わせて会員相互の親睦と健全な発展を期するというのが会の目的です。年1回の定期総会及び親睦会のほか、散策会や美麻地区文化祭参加など定例事業や美麻との交流活動を続けています。

行事・事業関係では、関東での「わが街あんない」散策会はすでに8回目を数え、さらに昨年からは美麻地区文化祭に当会か



ら7名が7作品目22点を出品参加させていただきました。久しぶりに里帰りし、日頃の成果を故郷の皆さんにご覧いただき嬉しく思っています。また、美麻の更なる発展を願い、今後故郷ツアーなども企画し、産品購入やPRなど少しでも貢献したいと考えています。

なお、当会も近年会員減少傾向にありますことから、今後の故郷との絆継承のためにも、皆さんのご家族、縁者、知人等で関東にお住いの次世代の方々に「ふるさと美麻会」への会員加入（無会費）を推薦していただければ幸いです。よろしく願い申し上げます。絆を深め、更なる発展を

ふるさと美麻会世話人代表

中村重勝（青貝出身）

## 地域づくり活動の事業提案を募集します

平成26年度の地域づくり事業の提案を会員の皆様から募集します。

「こんな事業やったらどうだろう?」、  
「私たちの団体の活動を支援してほしい」  
等、お寄せいただいた提案を基に美麻地区が活性化するよう検討、事業化しますのでご協力ください。

提案方法：提案内容を任意の用紙により

期限：平成26

年2月28日（金）

までに事務局まで

お寄せください。

